

プチグレンの保湿オイルで、 お風呂上がりの肌をなめらかに整えましょう

これからの季節、お風呂上がりのスキンケアは油分が大事。そろそろ夏用のクリームはおしまいにして、プチグレンが香る保湿オイルはいかがでしょう。しっとりするのにサラサラだから、全身のお手入れにぴったりです。

濡れた肌に伸ばすから

油分も水分もバランスよく補えます

プチグレンの保湿オイルは、成分のほとんどが油脂ですから、そのまま伸ばすとちょっとべたつくかもしれません。そこで、お風呂から上がったらすぐ、バスタオルで拭く前の段階で塗ってみてください。肌についた水分とバランスよく混ざり合い、しっとりなめらかな肌に仕上がります。

プチグレンの甘い香りが

うるおいのある肌に導きます

プチグレンは柑橘系の葉や小枝を抽出した精油です。瓶から直接嗅ぐと苦みが目立ちますが、植物油で薄めるとやさしく甘い印象が変わります。成分は、ラベンダーと同じく、酢酸リナリルとリナロールが中心です。どちらも抗炎症作用があり、乾燥対策として優れています。



【保湿オイルの作り方・使い方】

1. 小分けボトルに、オリーブ油(15ml)を入れる。
 2. プチグレン精油(3滴)を加える。
 3. 容器を振り、混ざったらできあがり。
 4. 湯上りの濡れた状態で全身に伸ばす。
 5. バスタオルで拭き取り、終了。
- ※できあがり量は、全身約3回分です。

おすすめアロマグッズ(130)

「ワイルドローズ・ビューティーバーム」
ニールズヤード

ローズヒップオイルが主成分の油性クリーム。
全成分中99%がオーガニックの素材です。

肌にのせると体温に溶け、うるおいとツヤをもたらします。塗った瞬間はハーブ系のフレッシュな香りが際立ちますが、しばらくしたらパチュリの深みのあるイメージに変わっていききました。



フェイシャル割引

詳しくはこちら
11月30日まで



音楽でリラックス 10月の一枚



アダージョ・カラヤン・ベスト

ヘルベルト・フォン・カラヤンの指揮で、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団が全曲演奏しているアルバムです。タイトルのアダージョはゆるやかに演奏せよという意味で、ゆったりと流れるような9曲が収録されています。

「亡き王女のパヴァーヌ」など、映画やドラマに使われた曲が多く、なじみのあるメロディーに心が和みます。CD発売当時は、ヒーリング音楽としても評判になったそうであるほどと納得しました。

編集後記

今号でご紹介の保湿オイル、私はお風呂から上がったらすぐ、脱衣室で全身に伸ばします。そのままバスローブをはおれば、水気は吸収されますから、すぐにパジャマが着られます。保湿オイルは時短になり、冷え予防としても優秀です。

材料の植物油は、好みのものでも構いませんが、今回のレシピではオリーブ油を選びました。オリーブ油は、オレイン酸が豊富で保湿力が高いことと、薬局で手軽に買えることが魅力です。